



文武両輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年 8月25日

【文責】校長 蔦川 誠

自分から行動して他の人とも積極的に に協力して課題を解決していこう！

最初に、皆さんに伝えたいこととお話します。

学校は、かけがえのない皆さん一人一人を大切にできる場所であればなりません。残念ながら、1学期にそうではない指導が本校で何件かありました。2学期以降、我々教職員は皆さんが安心して生活したり学んだりすることができる環境づくりに引き続き努めていきます。もしも、皆さんが学校生活の中で困っていることや悩んでいることがあったら、一人で抱え込まずに、遠慮せずに話しやすい先生誰でもよいので相談してください。お話したことは、帰りの会で配布する保護者宛のプリントにも書いてあります。家に帰ったら必ず保護者の方に渡してください。

今日から2学期がスタートします。皆さんが元気な姿で始業式を迎えることができ、とてもうれしく思っています。1学期の終業式では「挑戦する夏休み」にしてほしいとお話しましたが、どんなことに挑戦したでしょうか。その結果はどうだったでしょうか。

とても暑かった夏休みでしたが、暑さにも負けずに勉強や部活動に励んでいたものと思います。

夏休み中も、皆さんの成長した証（あかし）となる、うれしい知らせが次々に入ってきました。科学の甲子園では「恵の詩（めぐみのうた）」チームが県大会優勝を果たし、本校としては2年連続で全国大会に出場することになりました。北奥羽新人大会では卓球部が女子団体3位の成績を収め、防犯大会で剣道部女子が団体2位、安協大会で野球部が3位など、新チームでの活躍が見られました。「文武両輪」の合言葉のもと、これまでの努力が実り、夏休み中もたくさんの立派な花を咲かせてくれことを、うれしく思います。

もう一つ、とてもうれしい出来事があったので、紹介します。

それは、夏休み中に本校男子バスケット部の3人が部活動から帰る途中で、学区内の道路で転倒したおばあさんを助けたということが、おばあさん本人からの電話で分かりました。その後おばあさんは救急車で運ばれたそうですが、検査の結果、特に異常なしということでした。おばあさんは、その時に十分なお礼もできなかったのが、改めて感謝の気持ちを電話で学校に伝えてくれました。3人がおばあさんを助ける様子を見ていた、地域の方からも「生徒さんたちはとても立派でした」というお褒めの言葉とともにその時の様子について、学校へ電話がありました。

3人の行動は本当に立派だったと思います。それを聞いた時、とてもうれしく思いました。

今年度、本校では、「課題の解決を目指し、主体的・対話的に学び、協働する生徒」という学校目標を掲げています。校長室前に貼っていますので、後ほど見てください。簡単に言うと、「自分から行動して他の人とも積極的に協力して」課題を解決していこう、という目標です。2学期は授業でも行事でも部活動でも、この目標を常に意識してほしいと思います。

学校生活をよりよいものにしていくためには、自分の課題、自分の所属している集団（学級、委員会、部活動など）の課題を一つ一つ解決していかなければなりません。その際に最も大切なのは、「自分から行動するということ」です。他人任せではなく、まずは自分が動いてみることに、自分の力だけで無理な場合は積極的に他の人と協力していくことが必要です。2学期は、落ちていて学習に取り組める期間であり、体育祭、文化祭など大きな行事にもじっくりと取り組める期間でもあります。さらには市中体秋季大会もあります。勉強でも行事でも部活動でも大きな成果を出すことのできる期間でもあります。

2学期、長者中生一人一人が主体的・対話的に学び、協働する姿勢を常に意識して、様々な教育活動において文武両輪の花をたくさん咲かせてくれることを期待しています。

2学期も、頑張りましょう。

（2学期始業式式辞から）